

兵庫の林業

2018. 1 No. 283



『朝来市山東町野間(公益社団法人兵庫みどり公社 分収造林地)』

もくじ

- △新春を迎えてV・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- △知事新春メッセージV・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 祝 宍粟市一宮町東河内生産森林組合
- 第56回農林水産祭日本農林漁業振興会
- 会長賞を受賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 平成29年度林業賞受賞者の皆様・34
- 全国育樹活動コンクール国土緑化推進
- 機構理事長賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 「ふれあいの森林づくり」優良市町村等
- 国土緑化推進機構理事長賞・・・・・・・・・・4
- ひょうご森づくり活動賞・・・・・・・・・・5
- 兵庫県立森林大学校第2期生の募集・5
- 第52回全国木材産業振興大会 奈良市
- において開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 平成29年台風18号、21号災害・・・・・・・・7
- △普及だよりV南但馬地域における
- 木質バイオマスへの取組・・・・・・・・・・8
- △技術シリーズVスギ、ヒノキ少花粉
- 品種採種圃の造成と苗木生産・9、10
- △森林ボランティア活動Vふるさとの
- 原風景再生プロジェクト「太市の郷」・・11
- 文鹿祭開催のご案内・・・・・・・・・・11
- 兵庫の巨樹・巨木(24) (裏表紙)
- 題字・・・・・・・・兵庫県知事 井戸敏三氏

表紙の写真

兵庫みどり公社では、新たに森林を循環させる皆伐・再造林を試みています。

花粉発生源対策促進事業により約4haの伐採と作業道開設、併せて隣接地の利用間伐も実施しております。伐採の跡地造林には少花粉のコンテナ苗の植栽と、獣害防止柵を設置し、花粉発生源の対策に加え、資源循環型林業の実現につなげます。



一般社団法人 兵庫県林業会議会長
兵庫県森林組合連合会代表理事会長
林業・木材製造業労働災害防止協会
兵庫県支部長

石堂 則本

新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当団体の運営につきまして格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、森林に対するニーズが多様化し、特に環境保全という観点から国土の保全や水源涵養機能の高度発揮に一層期待が高まっています。そんな中、昨年7月5日から6日にかけて、九州北部豪雨が福岡県朝倉市、大分県日田市などを襲いました。「線状降水帯」による異常な集中豪雨で山林に表層崩壊が多発し、大量の流木が河川を氾濫させ、集落に押し寄せて多くの家屋が破壊されました。健全な森林には一定の保水力があり、間伐の大切さや治山ダムの効果も再認識させましたが、それだけでは解決できない想定外の豪雨もたらす被害を未然に防止する対策が必要な時代になりました。

再来年度からは、主に森林吸収源対策として森林環境税（森林環境譲与税）の取組がスタートすることになりましたが、本県も新ひょうごの森づくりや災害に強い森づくりの充実強化により、森林の防災機能を一層高めていく必要があります。

我が国では、スギ・ヒノキなど1千万haを植えてきましたが、戦後木材価格が上がらず需要も伸び悩み、しばらく林業は低迷しています。その結果、50年生になる森が増えて、真中が膨れた歪な林齢構成になっていて、木材を使わないと古い木がどんどん残っていきまます。今後は、供給を新たな時代の需要に合わせ山にお金が入るように工夫すれば、それだけ森は元気になるはずです。

このような中、国では少子化対策等とともに「林業の成長産業化」を施策の柱として打ち出しました。これは今までになかった試みです。成長産業化には、森林資源を循環利用するため新たな技術導入が必要となります。

木材需要拡大の取組では、林地残材等を活用するバイオマス発電があり、本県では朝来バイオマス発電所を含めた4箇所が既に稼働しています。木材利用の新技术としては、中高層建築物に採用可能なCLTの普及が有効です。建築基準法が改正されたこともあり、兵庫県林業会館をCLT構造物として建替える工事に着手しました。今後目指していく都市部での木造化推進のため、広告塔の役割を果たします。

また、主伐再造林を進めるためには、コンテナ苗によるコスト低減化や少花粉スギの導入等とともに、森林林業技術センターで造林試験中の早生樹センダンも、実現すればケヤキと同等の良質な家具材等として活用可能です。

一方、将来の新規需要開拓では、木材繊維をセルロースナノファイバーに利用する研究が実証生産段階まで来ています。こうした取組で、林業が成長産業となることを期待します。

最後になりましたが、「兵庫の林業」をご覧いただく皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



兵庫県知事

井戸 敏三

平成三十年新春メッセージ

未来への扉を開く

新年あけましておめでとうございます。兵庫県政一五〇周年、二〇一八年の幕が開きました。一八六八年、後に近代日本の発展を牽引する神戸港の開港に続いて兵庫県が発足し、一五〇年となります。

今年、本県の行財政構造改革の目標年でもあります。阪神・淡路大震災や経済不況で危機に陥った財政の立て直しに着手して十年最後の仕上げの時が来しました。

この大きな節目を新しい兵庫づくりへの転換点にしなければなりません。

これまでの一五〇年は成長の時代でした。これからは成熟の時代です。人口は五十年以上、百年近くは減少します。経済も右肩上がりの拡大は見込めません。一人ひとりが夢の実現や豊かな時間の過ごし方を今以上に求める時代になるはずです。

今後も活力に満ちた兵庫であり続けるため、人口減少、少子高齢化に適応しながら、新たな価値観や県民が求める多様な生き方、働き方に対応できる地域を創っていく。二〇一八年、そのための新たな挑戦を始めます。

第一に、未来への道筋を描く。兵庫の進むべき方向を県民と共有するため、十年後のめざす姿と、持続可能な県政運営の枠組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを生み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学び直しや柔軟な働

き方ができる環境も整えます。

第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流や芸術文化・スポーツによる賑わいの創出に取り組みます。

第五に、社会基盤の充実。活発な社会経済活動の基礎になる高速道路などの整備を進め、近い将来起こるとされる巨大災害への備えにも万全を期します。

ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵庫県政一五〇年を機に新しい地域づくりのスタートを切る。さあ、力を合わせて未来への扉を開きましょう。

兵庫県 一五〇年迎え

新しいふるさとづくり 持続目指さん

祝 宍粟市一宮町 東河内生産森林組合 平成29年度第56回農林水産祭日本農林漁業振興会会長賞を受賞

(平成29年11月23日 明治神宮会館) 兵庫県林務課・兵庫県西播磨県民局光都農林振興事務所

1 受賞理由・概要

(1)受賞タイトル
「地域住民の山づくりによる収益が地域づくりに還元」

(2)受賞者の概要

組合は、昭和31年から入会林野整備に着手し、約15年をかけて昭和46年に設立されました。

現在、理事は6名(1名は会計を兼務)、組合員180名、出資金8,100万円となっています。保有森林の内、分収林を除く約666haを直轄経営しています。

森林資源の充実とともに、平成19年より利用間伐に取組み、平成21年から周辺の個人所有森林を集約し、高密度路網の配置による低コスト化を実施するなど収益を上げています。

また、カーボンオフセット・クレジット制度の活用や新たな工法の導入、地元林業事業者への若者の雇用を働きかけ、林業後継者の育成等に積極的に取り組んでいます。

(3)受賞理由(農林水産祭中央審査委員会の評価から抜粋)

ア 地域とともに歩む林業経営
森林経営で発生する余剰金は、分収契約を結んでいる自治会に配分され、地域のイベントや女性の特産品づくり等の地域活動に活用されており、地域住民の山づくりが、その収益を通じて地域づくりに還元されています。

イ 路網整備における新規工法(鉄鋼スラグ舗装)

路網整備の際、鉄鋼製造に伴い生成される「鉄鋼スラグ」を用いた簡易舗装工法に兵庫県下で最初に取り組みました。この工法は敷砂利程度の費用で路面を舗装でき、長期間に渡って維持管理費用が低減できることを実証しました。

ウ 輪掛け(自然乾燥)の実施による木材の高付加価値販売

夏に伐採を行った木材(丸太)を、標高650m以上の土場で1年間乾燥させ、伐採時から含水率を約半分程度まで落とすことにより付加価値を高めました。

2 今後の展望

このように、地域住民が森林に関わって管理・経営する手法として、組合による共同管理は推奨される方式であり、他の地域でも、山づくりによる収益が地域づくりに還元されるような「次代に引き継ぐ林業経営」が望まれます。



授賞式 長野組合長(左)・落岩会計理事(右)

平成二十九年 林業賞受賞者の皆様

兵庫県林務課

多可町八千代区

有田 昭蔵氏

主なご功績

「優れた菌床しいたけ生産技術の確立・普及と後継者育成に貢献」

有田昭蔵氏は、昭和43年から独学により原木しいたけの生産を始め平成9年には菌床しいたけ生産に方針を転換し、安定した生産量を確保するため、菌床の水分管理と温度調整等の施設管理を徹底されました。地域の新規生産者に対して丁寧に生産技術を提供するとともに、詳細な経営指導を行うなど、後継者育成にも熱心に取り組む、地域の菌床しいたけの生産振興に貢献されました。



平成二十九年 林業賞受賞者の皆様

兵庫県林務課

養父市十二所

但馬木造住宅振興協議会

主なご功績

「試験研究機関との連携による県産木材利用促進等に貢献」

但馬木造住宅振興協議会は、住みやすい良質な木造住宅の振興と需要拡大を通じて、地場産業の発展に寄与することを目的に平成9年に設立されました。但馬材を使用し、但馬の大工技術を活かした但馬型木造住宅の振興と新たな工法・技術の開発における試験研究機関との連携や全国的に減少している大工の養成など、地域材を使った家づくりの先導に貢献されました。



丹波市氷上町

藤井 稔氏

主なご功績

「高度架線集材や大径木等伐採の素材生産技術向上と普及に貢献」

藤井稔氏は、昭和59年から素材生産会社である藤井林業を立ち上げ、地域の素材生産業を牽引されてきました。特に架線と特殊伐採の豊富な知識と技術は地域で高く評価されています。また、各地の森林組合作業班に対して伐採、搬出等の安全作業を徹底して指導するなど、素材生産技術の向上に貢献されました。



全国育樹活動コンクール

国土緑化推進機構理事長賞

コミュニティひばり環境部会

(北雲雀ささぎの森ささぎな会)

主なご功績

荒廃が進んだゴルフ場・レジャ施設跡地の民間譲渡計画が浮上した際、貴重な里山林が開発されることを危惧したコミュニティひばりが署名を集めて陳情され、平成19年、緑地を保全することを条件に宝塚市が取得されました。約40年間放置され荒れ果てていた土地を、周辺住民の散策や森にふれあう場として提供するため、県の事業を活用し、基本整備されました。

平成22年には隣接した川西市の有志ボランティアを含めた「北雲雀ささぎの森ささぎな会」をコミュニティひばり環境部会の下部組織として設置され、生物多様性を意識しながら、下刈り、外来種の駆除、遊歩道整備、除伐、植栽などの保全整備をされています。

また、自然観察会や炭焼き、パードカービング教室などの体験プログラムの実施や、地元の小中学校生を受け入れるなど森林・環境教育にも尽力されています。

「ふれあいの森林づくり」優良市町村等

国土緑化推進機構理事長賞

行常しあわせの森づくり協議会

NPO法人ひょうご森の倶楽部・行常チーム

主なご功績

平成18年に山地土壌の崩落防止、農業用水及び法華山谷川の源流となる流下水改善のため、地元住民による「協議会」を設立、活動を開始されました。平成19年には県内各地で活動するひょうご森の倶楽部が「行常チーム」を結成、連携しながら里山林整備されています。

広葉樹や竹の除伐、作業道整備を行い、伐採竹はチップ化し作業道に敷き詰めるなど活用されています。

整備により、約40年間放置された暗い山に光と風が入り、多様な草木や花が生え、蝶や鳥が飛び交う豊かな里山になっています。

また、地元の夏祭りや文化祭での木工教室の運営などで協議会と行常チームの交流を図り、地域の活性化につながっています。

このほか、「トライやるウィーク」の受け入れなど、青少年の健全育成や緑化思想の推進にも貢献されています。

「ひょうご森づくり活動賞」は、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体等を表彰することで、広く県民の森づくり活動への参加意識の高揚を図り、さらに活動の輪を広げることを目的として、平成23年度に創設しました。
多可町中央公園周辺で開催された「ひょうご森のまつり2017」において、会長である井戸知事から表彰楯が授与されました。



神吉町内会 ふれあい里山会 (加古川市) 代表 山脇 徹

町内会所有の神吉山の里山整備を通じ、住民が気軽に利用できるふれあいの場を創出し、住民の生活文化の向上等を目的として平成21年度に結成しました。神吉山は古墳が点在し、西国三十三霊場の菩薩像、日露戦争戦没者供養塔があり、霊山ともいえ、住民が愛してきた山です。また、市の健康づくりの拠点「ウエルネスパーク」に隣接しています。
この特性を活かし、地元高校、

小学校の生徒の協力も得ながら、間伐や炭焼き、つつじなどの植栽、階段整備をしています。現在では、ハイキング利用者も多くみられ、イベントも開催されています。
今後地域住民に愛される山となるように会員一同微力ながら歩んでいきたいと思っています。

赤穂森の倶楽部 (赤穂市) 会長 岩本 好司

平成9年の発足後数年は赤穂ふれあいの森を中心に活動しました。平成10年からはひょうご森の倶楽部の活動地の一つである赤穂市西有年の自治会所有林を拠点に活動し、自治会の人々と共同作業をしています。人工林の手入れ、遊歩道の整備やヤブツバキ・クロマツの植樹、山小屋の設置、自然観察会などを実施しています。

また、赤穂御崎のサクラの蔓伐りや周辺の掃除、昨年からは赤穂義士祭の「竹灯り」の竹の伐り出しや穴明け作業に参加しています。これからも会員一同が共同作業を通じ森林の大切さを共有し、地元の人たちやひょうご森の倶楽部会員と共に相互の交流を深めていきたいと思っています。

兵庫県立森林大学校 第2期生の募集について

専修学校兵庫県立森林大学校では、平成30年4月入学の第2期生を募集しています。今期の入学試験については、今回が最終となりますので、受験される方はご注意ください。
入学試験は、【一般入学試験(第2回)】、林業事業体*への就業予定者や、既に就業されている方を対象とする【事業体推薦入学試験】、学習活動以外の経験や森林林業への熱い思いなどをアピールしていたら【自己推薦入学試験】の3種類です。

【*林業のほか、木材木製品製造業を含む】

- 1 受験資格
- 【推薦・一般共通】 次のすべての条件を満たす人
- ① 本県の森林林業振興に熱意を持ち、人物及び健康に優れる人
 - ② 平成30年4月1日現在40歳以下の人
 - ③ 高等学校を卒業した人(平成30年3月卒業見込みの人を含む)又は同等以上の学力を有する人

- すると認められる人
- (2) 【事業体推薦】
- ① 林業事業体の長が責任をもって推薦できる人で、本校を専願する人
 - ② 本校を専願する人
- (3) 【自己推薦】
- 本校を専願する人

- 2 課程 森林林業専門課程(2か年)
- 3 募集定員 若干名
- 4 出願期間 平成30年2月19日(月)～平成30年3月2日(金)
- 5 試験日 平成30年3月16日(金)
- 6 試験会場 県立森林大学校(無料送迎バスあり。要申込)
- 7 考査料 2,200円(出願書類の受付後)
- 8 出願書類 募集要項をご確認ください。募集要項は、大学校で配付するほか、兵庫県ホームページからもダウンロードできます。(入学願書など出願書類の様式含む。)
- 9 問合せ・願書提出先 県立森林大学校 〒671-4192 六粟市一宮町安積13473 TEL 079-0722700

森林大学校 検索

第52回 全国木材産業振興大会 奈良市において開催

全国木材産業振興大会は毎年、全国6ブロック持ち回りで開催されており、今年度は近畿ブロックの奈良県で開催されました。

平成29年11月9日、奈良市のなら100年会館大ホールにおいて、全国から約八百名の木材業界の参加を得て盛大に行われました。

当日は、大会の宣言決議として、木材の利用拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化の防止、地域経済の活性化などを通じ、豊かな暮らしや低炭素社会の実現に大きく貢献するものであり、森林資源が充実しつつある中、伐つて、使つて、植えて、育てるという循環利用の確立が重要であるとの認識のもと、ウッドファースト社会の実現に向けての様々な行動を行っていくことが決議されました。

また、特別講演として、薬師寺管主村上太胤の「奈良仏教と樹の文化」と題した講演が行われ、仏教と日々の生活、木材との関わりについて、ユーモアを交えた興味深い話で参加者から大きな拍手が贈られました。

その後、退任団团长表彰として、兵庫県木材業協同組合連合会前会長の松野正和氏が授与されました。また、木材産業功労表彰として、全木連会長賞に兵庫県から下記記載の3名、全木協連会長賞に3名が受賞されました。

各受賞者の所属及び氏名は次のとおりです。

退任団团长表彰

松野 正和氏 兵庫県木連 現副会長



主なご功績

平成4年に前神戸木材協同組合の理事として、平成23年からは同理事長に就任するとともに、兵庫県木材業協同組合連合会の会長に就任し、兵庫県内の木材産業のリーダーとして県下の木材業界の振興に尽力されています。
松野氏は、会員向けの情報提供の強化や公共建築物の木造化推進のためのセミナーの開催などを精力的に進めるとともに、木材利用ポイント事業の推進にあたっては

全国木材組合連合会長賞

北野昭典氏 甲南木材協同組合理事長 (兵庫県木連理事)

上川篤氏 宍粟木材業協同組合理事 (兵庫県木連理事)

足立光敏氏 丹波市木材林産協同組合理事長 (兵庫県木連副会長)

全国木材協同組合連合会長賞

服部鋭治氏 神戸木材仲買協同組合理事 (兵庫県木連監事)

菅長一郎氏 姫路木材協同組合副理事長 (兵庫県木連理事)

土肥正美氏 但馬木材業協同組合副理事長

ふるさとの木「兵庫県産木材」おすすめします

当連合会では、公共施設や公共土木の工事、地域型住宅グリーン化事業等で使用される兵庫県産木材の証明、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度の申請に必要な県産木材(ひょうご県産認証木材製品)使用住宅証明書の発行を行っています。
兵庫県産木材は、当連合会に設置している県産木材供給部会の部会員が積極的に供給しております。
詳しくは、当連合会のホームページをご覧ください。

兵庫県木材業協同組合連合会

〒650-0013 兵庫県神戸市中央区花隈町12番6号 第三大知ビル5階
Tel: 078-371-0607 Fax: 078-371-7662 URL: http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/

自己流で使っていませんか?

刈払機の安全講習のご案内

講習を受けて、正しい使い方を学びましょう!

刈払機取扱作業安全衛生教育

H30. 1.26(予定) 三木山森林公園 (三木市)

(平成30年度のチェーンソーや刈払機などの講習会の日程は未定です)

林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫支部

平成29年台風18号、21号災害について

兵庫県農政環境部農林水産局治山課

1 気象等の状況

兵庫県では、平成29年9月17日に明石市付近に上陸した台風18号及び、平成29年10月21～22日にかけて日本の南を北上し23日に静岡県に上陸した台風21号の影響により、県内各地で記録的な降水量を観測した。

台風18号では、姫路市で1時間の最高雨量が88mmを観測したほか、豊岡市や新温泉町など但馬地域を中心に200mmを超える累加雨量を観測した。(表1)

台風21号では、但馬地域や淡路地域で300mmを超える累加雨量を観測し、特に、最大24時間雨量は、新温泉町、香美町、養父市で観測史上1位を更新した。また、風についても、神戸市で45.9m、三田市で39.6mの最大瞬間風速を観測するなど、各地で非常に強い風を観測した。

表1 降水の状況
(兵庫県災害警戒本部)

台風18号に伴う累加雨量主な5地点

市町名	観測地点	累加雨量
新温泉町	石橋	225mm
朝来市	与布土ダム	214mm
新温泉町	久斗山	206mm
香美町	畑	203mm
豊岡市	但東ダム	200mm

台風21号に伴う累加雨量主な5地点

市町名	観測地点	累加雨量
洲本市	相川	334mm
豊岡市	山田	323mm
豊岡市	栗栖野	319mm
南あわじ市	南淡	304mm
養父市	出合	299mm

2 人的被害と住家被害

台風18号による人的被害は、強風等による負傷者6名、住家被害は、床下浸水被害を中心に22市町で53棟であった(9月20日現在)。

台風21号による人的被害は、神戸市を中心に強風等による負傷者が78名、住家被害は強風等による一部損壊被害を中心に15市町で98棟であった(10月26日現在)。

3 林地と林道の被害

(1) 林地の被害
台風18号による林地の被害は、25箇所、7億3千万円に上っている。被害の内訳は、溪流からの土砂流出が20箇所、山腹斜面の崩壊が5箇所である。

台風21号による林地の被害は、15箇所、4億5千6百万円に上っている。被害の内訳は、溪流からの土砂流出が4箇所、倒木や山腹斜面の崩壊が11箇所である。(写真1及び表2)

(2) 林道の被害

台風18号、21号による林道の被害は、33路線、15箇所、1億5千8百万円に上っている。被害の内訳は、法面崩壊や路体の流出、路側擁壁の被災であった。(写真2及び表3)

普及だより

南但馬地域における木質バイオマスへの取組

但馬県民局 朝来農林振興事務所

1 はじめに

平成28年12月1日から朝来バイオマス発電所が稼動しました。これは、平成24年にFIT(再生エネルギー固定価格買取)制度が創設されたこと、森林資源、特にスギ・ヒノキが利用できる林齢にきていること、施策が保育間伐から利用間伐に転換したという背景があります。

2 現状と課題

朝来バイオマス発電事業は、FIT認定・平成26年6月、発電規模5,600kw(一般家庭1万世帯相当)、未利用木材年間7万m³(6.3万t)専焼、1日あたり木材燃料チップ200t。

県は、当該事業を進めるための仕組みとして、未利用木材の搬出から燃料チップの製造及び発電までを一連の事業として、兵庫県森林組合連合会、兵庫みどり公社、関西電力、朝来市、兵庫県の5者

が協定を結び、官民協働で取り組む「兵庫モデル」の構築を目指しています。



このモデルのもう一つの特徴は、発電用燃料となる未利用木材を20年間固定価格で買い取ることににより、森林所有者から発電事業者まですべての関係者が利益を共有し、森林所有者の山ばなれを防ぎ山への関心や意識を醸成するものです。平成28年度のDe(バイオマスエネルギーの略)材等の供給は、計画量の約6割の14千t、平成29



写真1 台風21号により県道・町道が山腹崩壊で一時的通行止(香美町) 左の写真は応急復旧後



写真2 台風21号により林道の路体が流出(天谷尾ノ谷線 養父市)

年9月末では計画量の1-4の7千tです。全国的な問題ではありますが、木材を安定的・継続的に供給するため、造林補助金不足の解消など抜本的・根本的な対策が必要になってきています。また、伐採方法としては間伐が中心ですが、今後は皆伐が行われることは必至であり、皆伐跡地の再造林は、喫緊の課題です。

3 平成29年度の取組

(1) 森林更新パイロットプロジェクト

全県では皆伐再造林のワーキングが行われ、皆伐の指針を示す「ひょうご皆伐・更新指針(仮称)」が策定される予定です。当管内では、ふるさと創生推進費を活用し、種子供給による天然更新試験を実施しています。職員が直営で先駆性種であるアカメガシワ、カラスザンショウ、オオバアサガラの種子を採取しました。また、伐採・更新ルールを明確にするために、市、森林組合、素材生産業者による検討会を開催する予定にしています。

(2) 森林組合への指導

養父市、朝来市のそれぞれにお

表2 林地被害の状況

台風名	箇所数	被害額(百万円)	被災市町
台風18号	25	730	姫路市、豊岡市、養父市ほか
台風21号	15	456	香美町、養父市、朝来市ほか
合計	40	1,186	計11市町で被災

表3 林道被害の状況

台風名	路線数	被害額(百万円)	被災市町
台風18号	24	80	豊岡市、養父市、朝来市ほか
台風21号	9	78	香美町、新温泉町、養父市、朝来市
合計	33	158	計5市町で被災

4 今後の対応

今回被害を受けた林地や林道は、既定予算の活用に加え、12月補正予算により早期復旧を図る。

(1) 治山施設災害復旧事業

香美町の治山事業施行地において、山腹斜面が崩壊し、県道、町道、人家の一部に被害を与えたため、道路管理者や豊岡農林により応急工事を実施した。12月に国の災害査定を受け、災害復旧を実施予定。

(2) 県単独治山事業(県営・補助)

再度災害を防止するため、緊急に復旧整備を行う必要がある神戸市や豊岡市等で実施予定。

(3) 林道施設災害復旧事業

朝来市等の被災箇所は、12月中に災害査定を受け、早期復旧を目指し、順次工事に着手予定。

いて、市、森林組合及び県の3者で会議を設置し、森林・林業の強化対策について検討を進めている所です。その中でお互いの連携を強固なものにし、地域産材の生産を推進する取組を進めていく方針です。

4 今後の取組

(1) 森林更新パイロットプロジェクト

0.1ha程度の試験地に採取した種子を播種するとともに、獣害防護柵を設置し、3年間経過観察をします。また、引き続き伐採・更新ルールの検討会を開催します。

(2) 但馬産スギ材の需要拡大

燃料チップ供給のための原木の供給もおろそかにはできませんが、製材、合板等A材B材利用の割合が少なくなっていくことは、森林林業の振興・活性化の点では本末転倒です。そこで、今まで材質が柔らかく住宅の構造材には不向きとされてきたスギ材を「anima LAPOSによる「たじまスギの家」づくりに使用し、但馬産スギ材の需要拡大を促進することで、地域資源の適切な利用と地域振興の活性化を図ります。

スギ、ヒノキ少花粉品種採種園の造成と苗木生産

県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター

中川 勉
橋本 忠義

1 はじめに

近年特にスギ、ヒノキの花粉症が大きな問題となり、国民の4、5人に1人が悩まされているといわれています。本県ではこれまで、スギ人工林における花粉生産量の推定をはじめ県下各地のスギ花粉飛散時期と飛散量の調査、あるいはスギ品種による花粉飛散量の違いなどの研究に取り組んできました。

また、平成20年度からは花粉の少ないスギ品種による採種園の造成にとりかかり、現在では少花粉スギ品種苗木が流通しています。この経緯につきましては本誌No.257(2010.7)に掲載しています。一部再掲するとともに、その後の状況を紹介いたします。

2 スギ少花粉品種採種園の造成

平成19年度に林野庁が林業科学技術振興所と気象業務支援センターに解析を依頼して、スギ花粉発



写真3: 森林大学校生による少花粉スギの採種状況

少花粉ヒノキ採種園は0.7haに2m間隔で20品種1,338本植栽しました。兵庫県からは氷上1号、多可6号、美方1号の3品種が導入されています。その他、三重県、岡山県、鳥取県、徳島県、愛媛県、高知県などの関西地区の精英樹が植栽されています。

ヒノキ少花粉品種の苗木は平成35年度から供給する計画です。スギの場合に比べて、採種園造成から苗木供給までの期間が長いのは、スギの種子結実促進は苗木に薬剤

生源地域区分図を作成し、公表しました。それによると4大都市部に多くの花粉を飛散させている地域を重点対策地域に指定し、全国95千haのうち、関西が40千haで、そのうち兵庫県の18.4千haが該当しました。

このため本県でも平成20年度より、スギ花粉品種採種園の造成を始めました。少花粉スギ品種(※)穂木を林木育種センターから購入し、接ぎ木苗木の育成を始めました。接ぎ木で苗木を増やすと親木と同じ遺伝子型の苗木ができるため、接ぎ木苗木により採種園を造成します。

本県は瀬戸内から日本海までにわたっているため、林業種苗法によるスギ品種の配布区域は中北部(Ⅳ区)と南部(Ⅴ区)の2つに分かれています。南部の品種を中北部に植えることは法律上できませんが、中北部の品種は全県下に植えることができます。これらに

4 ヒノキ少花粉品種採種園造成
ヒノキについても花粉生産の少ない精英樹が明らかとなったため、少花粉スギと同様に接ぎ木を行い採種園の造成を計画しました。

平成23年度、25年度に接ぎ木苗木生産を行い、平成26、28年度に採種木の植栽を行い、採種園造成は完了しました。しかし、雪害が発生したため、今後補植を実施します。

スギは、林業種苗法により、兵庫県では種苗の配布区域が2つの地域に分かれています。ヒノキの場合は全県が1つの地域となっています。



写真4: 少花粉ヒノキ採種園

より中北部用の17品種を使って平成22年度、24年度にスギ採種園を造成しました。本県からは美方2号、美方3号の2品種を植栽しました。これらは、次代検定林を調査した3年間の花粉生産量は皆無でした。その他、石川、鳥取、岡山県の精英樹品種が植栽されています。なお、造成面積は3年間で1.9ha、植栽苗木は3,399本でした。

※ 少花粉品種とは、精英樹の中で通常の品種に比べて花粉生産量が、1%以下の品種

3 スギ少花粉品種の苗木の生産

造成した採種園の1/3ずつに毎年ジベレリンという薬剤による



写真1: 少花粉スギ採種園

量氏(元緑化センター所長)及び種子採取にご協力いただいた森林大学校の方々に感謝します。

るまでの期間が必要だからです。平成35年度に山行苗木を生産するには、前年度に播種する必要があります。そのためには平成32年度に薬剤処理し、平成33年度に種子採取する必要があります。したがって、それほど時間的余裕があるわけはありません。

5 おわりに

花粉症対策品種につきましては、平成28年度で造成事業が終了しました。

しかし、少花粉スギ品種採種園では、造成年度や植栽箇所により生育の差が大きく、成長のよい所では間伐や断幹などの管理作業が今後必要です。少花粉ヒノキ採種園では前述のとおり、補植が必要な箇所もあります。

また、少花粉スギ・ヒノキ採種園には、他県産の精英樹が多く植栽されており、これまで兵庫県の次代検定林に植栽されていない品種も多くあります。これらの県内での生育状況を今後も調査し、不良なものが明らかになれば、採種園から除去していく必要もあります。

最後に、この原稿の執筆にあたり色々ご指導いただいた前田雅



写真2: 少花粉スギ種子結実

種子結実促進処理を行い、翌年秋に種子を採取し、その翌春に播種を行ってきました。平成23年度に初めて採種を行い、平成24年春に播種し、平成25年度(26年春)に最初の少花粉スギ2年生苗木3千本が山に植栽されました。苗木の供給は平成26年度21千本、27年度27千本、28、30年度108千本、それ以降は380千本が計画されています。実際は平成25年度に採種量が急増し、平成27年度以降は兵庫県のスギ播種量の80、88%を少花粉スギが占めており、135千本、142千本の1年生苗木を生産できる播種を行っています。したがって、平成30年度までは計画どおりの山行苗木を生産できるものと思われれます。



写真5: 少花粉スギ採種園の断幹



写真6: 少花粉スギ採種園の断幹後

「ふるさとの原風景再生プロジェクト」「太市の郷」

代表 崎谷久義

中播磨・姫路市太市地区は、県内屈指のタケノコ出荷地です。

しかし竹林の維持管理や採掘の繁雑さに手数が要り、且つ重労働を強いられること。加えて、中国からの生産物が国内需要を満たしきる程に到来する追い討ちも有って、生産コストが引き合わない。等々の要因から、当地でも放置竹林の自然拡大が顕著となっていました。

これまで里の栽培林だった竹が管理放棄され、自由繁殖で山斜面を這い上がる。また、野良の畑や果樹園などへ浸食拡充し竹林化する。これらの現象を、全国的に広く見受けようになりました。

かつて、災害時は竹林へ逃げ込むのが安全と言われたことが、今では山崩れを危惧する場として不安視されている始末です。

ふるさとの野山の荒廃は、里地で育まれる子どもたちの心を萎えさせます！ふるさとの豊かな自然に愛着と誇りを持って暮らし、成長して欲しいと思います。

「伝統的で美しい竹林景をまもり、次世代に繋いでゆきたい！」仲間たち20人が集い、里山竹林を

保全する「太市の郷」が開始して10年を経過しました。

主な活動地は、地域不在の個人地主さんの持ち藪や雑木林。現在は12名の地権者から承諾を得て、概ね30,000㎡を手掛けています。

荒んだ藪を健全な竹林に修復。伐採竹の利活用として、こども園や児童文化施設などへ出向き、竹垣の設置・竹細工づくり・竹玩具あそび出前活動の実施。また、蘇生なった里山を地域内外の学童たちの自然体験や環境学習フィールドとして開放し、子どもたちの騒めき声を聞く愉しみを仲間と味わっています。



タケノコ掘り体験イベントの様子

文鹿祭 (Bunkasai) 開催のご案内

鳥獣対策課

兵庫県では、シカの有効活用を推進するため、猟友会、シカ肉処理加工施設、飲食店等で構成する「ひょうごニホンジカ推進ネットワーク」を中心にシカ肉等のPR活動を行っています。

栄養価も高く、魅力ある地域資源を取り入れたライフスタイルを考えたいませんか。

【文鹿祭 (ぶんかさい) とは】

農林業被害や森林生態系に深刻な影響を与えるニホンジカについて、地域資源として活用する重要性を広く啓発することを目的に開催。ニホンジカを利活用した食品・製品などを普及する場として、シカ肉料理・シカ革製品やペットフード等のPR販売、コンサート・セミナー等を実施。今回で3回目。

【テーマ】

「森と人を繋ぎ、調和のとれた自然環境を次世代へ繋ぐ」

【開催の日程】

平成30年2月27日(火)
午前10時～午後7時

【開催の場所】

生田神社境内
拝殿参道前・生田神社社会館
(神戸市中央区下山手通一丁目二二)

【入場料】

無料 ※ただしブースにて販売の

物品には別途料金が必要となります。

【内容】

- ◇ブース出展
- ◇シカ肉を利用した料理(シカバーガーやシカコロッケ、シカ唐揚げ、シカ汁)やシカ肉を使ったドッグフードの販売や商談会を実施。
- ◇スペシャルトークショー
- ◇「けもの道」編集長を招いてのトークショー
- ◇狩猟シミュレーターによる狩猟体験
- ◇各種ワークショップ
- ◇シカ剥製・パネル展示
- (一部内容変更の場合あり)
- ◇お問い合わせ先
- 鳥獣対策課 被害対策班
- (〇七八―三六二―三四六三)



前回開催 神戸市立相楽園にて

堤名板・林道名板と
森林土木事業の各種標識類の製作・販売



株式会社 林土連研究社

代表取締役 岡田恒夫

本社 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3永田町ビル6階
TEL03-3580-0907 FAX03-3504-1687
川口支店 〒332-0002 埼玉県川口市弥平3-2-24
TEL048-222-7211 FAX048-222-1914

国土防災技術株式会社

URL=http://www.jce.co.jp/

《調査/コンサルタント業務》
△地質調査業、建設コンサルタント、測量業、環境省指定調査機関
《建設工事》
△特定建設業：とび・土工工事、土工工事、さく井工事
△一般建設業：電気通信工事、造園工事

神戸支店：〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル
TEL(078)221-2213(代) FAX(078)221-2611
但馬事業所：〒667-0043 養父市八鹿町高柳字岸の下137-4
TEL(079)662-7108 FAX(079)662-7496
洲本事業所：〒656-0023 洲本市小路谷字古茂江1282-66
TEL/FAX(0799)24-5243



緑地管理の未来をひらく

- ◆ 松枯れ予防散布剤 ヤシマスミパイン乳剤・スミパインMC
- ◆ 松くい虫被害木伐倒駆除に ヤシマNCS・くん蒸与作シート
- ◆ 松枯れ予防樹幹注入剤 グリンガードNEO・マッケンジー
- ◆ なら枯れ予防・カシノナガキクイムシ駆除に ヤシマスミパイン乳剤・ヤシマNCS
- ◆ アメリカシロヒトリなどの対策に 打ち込み上手
- ◆ 蜂に先制攻撃、強力噴射の ハチノックL・ハチノックS

レインボー薬品株式会社 東京都台東区上野1-19-10 TEL: 03(6740)7777(代) FAX: 03(6740)7000
※ 住化グリーン(株)は、合併により10月から社名を変更いたしました

エムシー緑化の 林業用薬剤

ススキ ササ地に

フレック® 粒剤10

発売元 正和商事株式会社

松枯防止樹幹注入剤

マツガード®

大阪市中央区道修町1丁目3番4号 〒541-0045
TEL 06 (6203) 4541 FAX 06 (6203) 4347



守 暮 人 山
る ら の と
し
を

日本の森林とともに歩いて 60年
一般財団法人 **日本きのこセンター**

日本きのこセンターは国産材を活用した原木きのこ栽培を応援しています

本部 鳥取市富安1丁目84番地 Tel:0857-22-6161 (代)
鳥取事務所 鳥取市古郡家211 Tel:0857-51-8132 Fax:0857-51-8133



Husqvarna
550XP-JP/XPG-JP

レッドトッド・デザイン賞2013
ベスト・オブ・ベスト受賞製品

AutoTune

■排気量：50.1cm³
■出力：2.8KW
■質量：4.9/5.1kg(XPG)

本当の価値が分かる方へ!
安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェーンソーの最高峰です。革新的な技術を融合し、これまで以上のパワーでさらなる軽量化に成功した500シリーズをぜひお試しください。

愛林興業株式会社
本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL (079) 234-8181(代)
神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL (0790) 32-0570番
但馬店 養父市上野1357 TEL (079) 664-2101番

“治山・林道測量” は経験と実績のある
株式会社 **石原測量コンサルタント**

国土交通省登録第24891号
県知事許可(般-27)第461481号

本社 兵庫県宍粟市山崎町 船元250-1
Tel (0790) 63-1377
Fax (0790) 63-1398
営業所 兵庫県姫路市夢前町助野1078-3
Tel (079) 336-1418




株式会社 グリーン興産

〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003
Tel 0790(72)1553 Fax 0790(72)2327
URL <http://www.greenkousan.co.jp>
E-mail: info@greenkousan.co.jp

みどりの集い.com あなたと共に 未来へつなぐ 森林づくり

緑の募金事業成果発表会のご案内

緑の募金の意義や重要性について県民や企業等の皆さんの理解を深めていただき、募金の取り組みを広げることを目指して事業成果発表会を開催します。

◆プログラム◆

13:00 開会
13:05~ 緑の募金感謝状贈呈
13:20~ 基調講演
講師 服部 保氏 (兵庫県立大学名誉教授)
13:50~ 各団体成果発表 (計6団体)
15:05~ パネルディスカッション
コーディネーター 平田 富士男氏 (兵庫県立大学大学院教授)
パネラー 成果発表者 6名
15:45~ 講評 上羽 慶市氏 (神戸学院大学客員教授)
16:00 閉会

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
〒650-0013 神戸市中央区花隈町12番6号
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071
URL: <http://www.hyogo-green.net/>

●日時 平成30年2月18日(日) 13:00~
●場所 兵庫県民会館11階バルテホール 神戸市中央区下山手通4-16-3
●主催 公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
●後援 兵庫県
●定員 100名(先着順) ※申し込み多数により参加いただけない場合のみご連絡します。
●費用 無料
●締切 平成30年2月9日(金) 必着
●申込方法 参加申込書(HPよりダウンロードください)に必要事項を記入の上、郵送又はFAXにてお送りください。

森林を守り育て、地域の安全・安心を確保する**治山事業**。
美しい森林、豊かな緑を確保する**林道事業、造林事業、松くい虫防除事業**。

一般社団法人 兵庫県治山林道協会
(仮移転先) 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-12
兵庫県土地改良会館3F
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632

兵庫県治山林道協会



私たちは、緑を育て、緑を守っています。

〒652-0881
神戸市兵庫区松原通2-2-2(11月から)
兵庫県森林組合連合会
TEL:078-381-5425
FAX:078-381-5435
E-mail: hyogomori@hyogomori.jp
HP: <http://www.hyogomori.jp/>



緑を育み水をつくる水源林造成事業

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-19 東洋ビル
TEL(078)571-0133 FAX(078)571-0135

兵庫県水源林造林協議会
〒650-0013 神戸市中央区花隈町12-6 第三大知ビル
TEL/FAX(078)351-3341



兵庫の巨樹・巨木(24)

⑳和田山町のツバキ(ヤブツバキ)
* 県下最大と発覚

【幹周218cm・根回り318cm・樹高8m・樹齢不明】



和田山町宮内の旧家・小谷正幸邸裏庭の片隅にあり、先祖代々大切にされてきた家宝的存在の古樹である。毎年元気に多くの花をつけ、家族や村人にも親しまれ続けてきたという。

株元が大きく湾曲するが、その樹幹部はまっすぐに伸び、樹冠部は雄大な傘型に広がっている。



株元の湾曲の様子



花姿は原種・素朴そのもの

恐らく、年輪解析をすれば、その樹体には成長に与えた環境因子・気候・気温・湿度は勿論のこと、その立地、人間社会の変遷をも内蔵した生きた歴史年表であろう。県下のツバキでは以下の表に記録している県郷土記念物・坂本の

ツバキ、村岡区高坂のツバキや村岡区入江神社の「村岡の銘木」、川西市多田神社(唐ツバキ)、豊岡市日高町上石妙勝寺(呼称・チリツバキ)等が大きなツバキとして知られてきた。(『兵庫の巨樹・巨木100選』・兵庫県林業会議・2005)

ツバキ(ヤブツバキ)は暖帯域に広く分布し、園芸品種も多く、公園や個人庭園にも広く植栽されている。

兵庫県下では全域の山野に花の形や色の濃淡の差はあるが広く分布している。年中常緑で葉には表裏共に光沢があり、生け花等の材料として年間を通して花材となる。花は冬から春にかけて咲き、庭木としても最多の候補であろう。

因みに全国の巨樹・巨木林センタリーのベスト5の幹周を転記する。

東京都小笠原村	360cm
三重県南牟婁郡御浜町	340cm
宮城県本吉郡唐桑町	330cm
高知県吾川郡吾北村	320cm
茨城県鹿島郡鹿島町	310cm

また、ヤマケイの渡辺典博著

「巨樹・巨木」には富山県氷見市老谷の300cm、京都府与謝野町の320cm、広島県世羅町の190cm等が写真付きで記録されている。

兵庫県下のツバキの大木・古木

胸高直径	生育市町	生育地	所有者
218cm	朝来市	和田山町宮内	小谷正幸邸
210cm	美方郡 香美町	村岡区入江	入江神社
205cm	宍粟市	山崎町春安	春安公民館
204cm	宍粟市	山崎町上寺	妙勝寺
200cm	西脇市	八千代町坂本	
199cm	美方郡 香美町	村岡区高坂	
195cm	美方郡 香美町	村岡区高坂	
190cm	豊岡市	日高町上石	長楽寺：チリツバキ

樹木医 橋本光政
樹木医 宮田和男
樹木医 塩見晋一